

**たった一週間で英文が口からほとぼし出る**  
**即修一週間英語脳構築プログラム**

**中嶋太一郎 著**

## はじめに

英語脳の構築といっても、あなたの頭に別の脳を構築させるというものではない。いわんや左脳とか右脳のどちらを使うということでもない。

ちょっと考えたらわかることだが、私たちと同じ英語を母国語としない人たちは私たちよりもはるかに自由に英語を会話の道具として使っている。これは彼らの脳に英語脳という別の脳が入り込んだからなのだろうか。

私が言う英語脳とは、英語のしくみ、あるいは回路を身につけるということである。英語のしくみはあまりにシンプルで合理的なもの、あるいは機械的と言ってもいい。英語の回路に従えばどんな人も簡単に英語は話せるのだ。英語が国際語(International language)となっているのは、英米の政治力や経済力の強さではなく、実はそのことにある。

この本にとりあげられている英語脳構築のトレーニングに注目していただきたい。ここには英文が先あって、日本語訳は後になっている。これは英語のしくみ、回路に従えばある意味で自動的に英文は生産できることを示している。今まで日本語がまずあってそれを文法の助けを得て英文を作り出すものが多かった。しかしそれでは日本語の発想が邪魔になって英語自体をさらにむずかしくさせるものでしかない。

したがってこの本には現在形、現在進行形といった文法用語は使っているが、それがSVOの文型だとか、現在進行形はbe動詞(am,are,is)+現在分詞だといった文法的な説明はまったくない。ネイティブスピーカーも知らない文法知識を得ることと、英語をことばとして身につけることはまったく別物なのだ。

英語は英語の発想で取り組むのが当然のことだ。ネイティブはもちろんのこと私たちと同じ英語を母国語としない人たちも「行為や状態をひとまとまりのもの」としてとらえ、それを英語の回路を使って場面や状況に応じて表現しようとしている。私たちもそれを学ぶべきなのだ。この英語脳構築プログラムはそれを目指したものに他ならない。

## 目次

プロローグ	P.5
【トレーニング-No.1】 「暇なの？」	
【トレーニング-No.2】 「頭が痛いの？」	
第1章 be動詞フレーズ系列の英語脳を構築する	P.30
第1節 be動詞に結びつく補語、その6つのパターン	P.31
第2節 be動詞+補語が形容詞のもの	P.32
【トレーニング-No.3】 「天気なの？」	
【トレーニング-No.4】 「暑いなの？」	
【トレーニング-No.5】 「順調なの？」	
【トレーニング-No.6】 「この道具役に立つの？」	
【トレーニング-No.7】 「私のこと怒ってるの？」	
【トレーニング-No.8】 「その犬が怖いなの？」	
【トレーニング-No.9】 「忙しいなの？」	
【トレーニング-No.10】 「眠いの？」	
【トレーニング-No.11】 「遅刻するの？」	
【トレーニング-No.12】 「寂しいなの？」	
【トレーニング-No.13】 「退屈してるの？」	
【トレーニング-No.14】 「その知らせ、喜ばしいもの？」	
第3節 be動詞+補語が名詞のもの	P.93
【トレーニング-No.15】 「危険な国なの？」	
【トレーニング-No.16】 「これ、役に立つ道具なの？」	
【トレーニング-No.17】 「これら、役に立つ道具なの？」	
【トレーニング-No.18】 「この車、私のものなの？」	
【トレーニング-No.19】 「孤独な人なの？」	
【トレーニング-No.20】 「孤独な人たちなの？」	
【トレーニング-No.21】 「会社員をしてるの？」	
【トレーニング-No.22】 「あなた方、会社員をしてるの？」	
【トレーニング-No.23】 「料理が上手なの？」	
【トレーニング-No.24】 「あなた方、料理が上手なの？」	
第4節 be動詞+方位語のもの	P.144
【トレーニング-No.25】 「あなたの車、ダウンしてるの？」	
【トレーニング-No.26】 「ここにいるの？」	
【トレーニング-No.27】 「8時に戻るの？」	
【トレーニング-No.28】 「出張してるの？」	
【トレーニング-No.29】 「コンサートが開かれるの？」	

**第5節 be動詞+補語が前置詞+名詞のもの** P.171

【トレーニング-No.30】「エレベータは、修理中なの?」

【トレーニング-No.31】「日本にいるの?」

【トレーニング-No.32】「入院してるの?」

【トレーニング-No.33】「ダイエットしてるの?」

**第2章 一般動詞フレーズ系列の英語脳を構築する その1** P.194

**進行形にも受身形にもならない動詞フレーズ**

【トレーニング-No.34】「若く見えるの?」

【トレーニング-No.35】「犬を飼ってるの?」

**第3章 一般動詞フレーズ系列の英語脳を構築する その2** P.207

**進行形が加わったもの**

【トレーニング-No.36】「毎年6月には、雨が降るの?」「降ってるの?」

【トレーニング-No.37】「入浴するの?」「入浴してるの?」

【トレーニング-No.38】「散歩するの?」「散歩してるの?」

【トレーニング-No.39】「酔っぱらうの?」「酔っぱらってるの?」

【トレーニング-No.40】「公園まで走って行くの?」「行こうとしてるの?」

**第4章 一般動詞フレーズ系列の英語脳を構築する その3** P.264

**受身形が加わったもの**

【トレーニング-No.41】「ビルのことが好きなの?」「好かれてるの?」

【トレーニング-No.42】「その真相を知ってるの?」「知られてるの?」

【トレーニング-No.43】「1日か2日要するの?」「必要とされるの?」

**第5章 一般動詞フレーズ系列の英語脳を構築する その4** P.292

**進行形、受身形が加わったもの**

【トレーニング-No.44】「その車を使うの?」「使ってるの?」「使われるの?」

【トレーニング-No.45】「朝食を作るの?」「作ってるの?」「作られるの?」

【トレーニング-No.46】「部屋を掃除するの?」「掃除してるの?」「掃除されるの?」

【トレーニング-No.47】「ビルを待つ?」「待ってるの?」「待たれるの?」

【トレーニング-No.48】「ネコを外に出すの?」「出してるの?」「出されてるの?」

**● 主な情緒動詞の意味** P.374

**● 「時」を表す表現** P.375

## プロローグ

### 英語脳をどう構築するか？

#### [1]脳のおくみ

人間の脳には「記憶の束」があり、ある刺激に対してシナプスという神経がその取り持ちをするという。その内言語脳は、発音や文法を理解する働きする部分であると言われている。思考は言語と密接な関わりを持って行なわれ、物事を認識するときには言語に置き換えて開始することになる。

私たちは、暇そうな人を見て「あなた、暇なの？」と聞いたり、気分のおそろいな人を見て「あなた、頭が痛いの？」などと聞き、一方英語のネイティブスピーカーはAre you free?とかDo you have a headache?などと聞く。つまりシナプスが刺激に反応して「記憶の束」にある言語脳に蓄積されてきたそれぞれの言語を取り持ったことになる。

#### ●日本人の英語脳？

私たちが、「あなた、暇なの？」といった英文を生産する場合を考えてみよう。この場合、「あなたは暇ですか？」ととらえ直して、「あなた」はyou、「暇な」はfree、「です」はareと考え、文法に従ってbe動詞areを文頭においてAre you free?といった英文を生産する。

一方「あなた、頭が痛いの？」といった英文を生産する場合には、まずこの日本文を「あなたは頭痛を持っているのか？」ととらえ直して、主語の「あなた」はyou、「頭痛を」はa headache、「持つ」はhave、さらに疑問文だからDoを文頭において、Do you have a headache?という手続きを経て英文を生産することになる。

以上は今まで学習してきて私たちの言語脳に蓄積してきた英語に関する単語情報と文法的な情報をシナプスが取り持ちしていると考えられる。

以上の処理はいずれも日本語と英語の単語が対一に対応しているものとし

て、それをシナプスが取り持ち、なおかつ文法に従って単語を並べる作業と言えるだろう。

You are free. → Are you free?

S V C        ~ですか? あなたは 暇

You have a headache. → Do you have a headache?

S V O                ですか?あなたは 持っている 頭痛を

あるいは、そんな文法的な手続きをまったく経ないで、「あなたは暇なの?」=Are you free?とか、「あなたは頭が痛いの?」=Do you have a headache?とセリフ覚えのように一文丸暗記をしようとする人たちも多い。しかしこれではNice to meet you.やHow are you?などと覚えたとしても、多くの情報を蓄積しなければならず、取り持つシナプスの負担には耐えられないのは当然だ。英文と日本語を一对一に記憶するなど途方もないことなのだ。

いずれにしてもこれらは日本語の発想から処理しようとするものでおよそ英語脳とはほど遠いものだ。

### ●ネイティブの人たちの英語脳

一方、ネイティブの人たちの英語脳というものはどのようなものか。まず「あなた、暇なの?」という表現では、「暇な状態」を表すfreeと、「あなた、頭が痛いの?」といった表現では、have a headacheを頭に思い浮かべる。いずれも彼らにとって「記憶の束」に蓄積されたfreeとhave a headacheがシナプスによって取り持たれると言える。だからそのまま相手にFree?とかHave a headache?などと上げ調子で聞くこともある。

ここで何より私たちの英語脳?とは異なっているのは、freeが形容詞だとか、haveが動詞でa headacheがその目的語だという意識はないということだ。彼らは「猫」がa cat、「犬」がa dogと頭にイメージするのと同じようにそれらを映像のようにイメージする。

## ●動詞はフレーズとして覚えなければ役に立たない

ネイティブの子供たちにとって日常生活の中で蓄えていくのは一つ一つの単語ではなく、動詞を含めたフレーズだ。実際、バイリンガルの友人に聞くと、彼は動詞を聞けば次にどういうことばが続くのか予想できると言う。つまり彼らの感覚では、動詞とそれに続く目的語や補語が一体化しているのだ。ところが、私たち日本人にとって単に動詞を単体ではなく、動詞をフレーズ(意味ある単位)として丸暗記する必要性はネイティブより増して大きい。

## ●日本語の発想から抜け出すために

まず、一つに語順の問題がある。

英語を何年も学んだものが、何かを「ゲットする」「メイクする」「キープする」「ギブアップする」「テークアウトする」などと言っている。テレビなどでこのような表現を耳にすると、私は日本の英語教育とは何なのかと疑ってしまう。

実はこのようなことが起こるのは、英語を日本語に変換するためには「後戻り訳」をしなければならないことにある。しかしこれは英語を読解するための手段に過ぎなく、英語の発想とは無縁なものだ。たとえば「何かをゲットする」は日本語の発想に過ぎなく、英語の発想ではget someoneやget somethingなのだ。ただこれだけで、英語発想に身を置くことができる。

### (日本語の発想)

若い女性をgetする

一等賞をgetする

顔をmakeする

ボトルをkeepする

タバコをgive upする

ハンバーガーをtake outする

### (英語の発想)

get a young girl

get the first prize

make up one's face

keep a bottle

give up cigarettes

take out a hamburger

## ●日本語の発想で立ち向かうべきではない

もう一つの問題は、日本語は動詞表現が豊かな言語だということだ。

当たり前のことだが日本語と英語はまったく異なる言語。多くの人は、日本語の発想から英語をとらえようとする。これがいかに英語学習を妨げているかほとんどの人は気づいていない。例えば、以下の日本語と英文では、前段の動詞フレーズの意味は「する」が共通しているが、動詞はまるで異なっている。

買い物する	do the shopping
デートする	have a date
決定する	make a decision
やけどする	get a burn
あくびする	give a yawn

一方、下にあげものはすべて動詞のgetが使われているが、その意味は「折る」「殴られる」「ひく」「稼ぐ」などとなっている。

腕を折る	get a broken arm
殴られる	get a blow
風邪をひく	get a cold
大金を稼ぐ	get a lot of money
叱られる	get a scold

あるいは、一つの動詞が日本語訳では様々になる場合もある。日本語では散歩は「する」もの、シャワーは「浴びるもの」、写真は「撮る」ものなのだ。

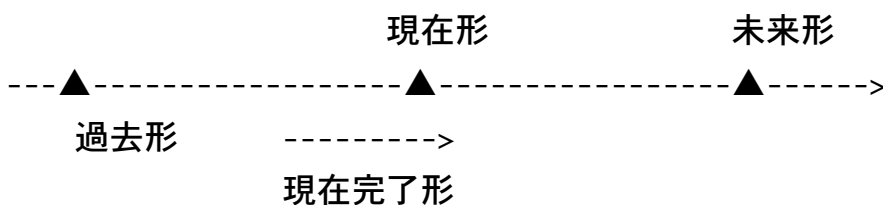
散歩する	take a walk
シャワーを浴びる	take a shower

写真を撮る	take pictures
深呼吸をする	take a deep breath
席に着く	take a seat
休憩する	take a rest

多くの方は、日本語の発想から様々な表現における「する」にはどんな動詞を使うか、あるいは「腕を折る」「殴られる」「風邪をひく」「大金を稼ぐ」など、「折る」「殴られる」「する」「ひく」に当たる英語の動詞は何かと考え込むことが多い。加えて「殴られる」は受身形を使わなければなどと思うこともあるだろう。これが英語で表現する場合の手かせ足かせとなっている。英会話学習で大切なのは、動詞フレーズをわざわざ後戻り訳をしないでどれだけその意味を頭にイメージしてしまえるのかということなのだ。

## [2] ネイティブは4つの時制感覚で英語を話す

私たちが、現在形だ、過去形だ、未来形だ、現在完了形だと文法で説明したり、「I am free.はSVCの文型だ」とか、「I have a headache.はSVOの文型だ」とか、あるいは「助動詞willは原形の動詞をとる」、また「現在完了形はhave[has]+過去分詞」などとシナプスを総動員してる間に、彼らは3才になる頃には場面や状況に応じて無意識にこんな表現が口をついて出てくる。つまり話し相手に向かって、be動詞の文ならAre you, Were you, Will you, Have youや、一般動詞の文ならDo you, Did you, Will you, Have youが彼らの言語脳に蓄積されている。前者はbe動詞のフレーズを処理し、後者は一般動詞（be動詞以外の動詞）の処理をする。彼らの英語脳には基本的には、これらただ2つの処理しかないのだ。



Are you <b>free</b> ?	(今)あなた、暇なの?
Were you <b>free</b> ?	(その時)あなた、暇だったの?
Will you <b>be free</b> ?	(これから)あなた、暇になるの?
Have you <b>been free</b> ?	(ずっと)あなた、暇なの?
Do you <b>have a headache</b> ?	(今)あなた、頭が痛いの?
Did you <b>have a headache</b> ?	(その時)あなた、頭が痛かったの?
Will you <b>have a headache</b> ?	(これから)あなた、頭が痛くなるの?
Have you <b>had a headache</b> ?	(ずっと)あなた、頭が痛いの?

●英語脳の回路は順列・組合せ

駅のコンコースを思い浮かべてください。

ここにはプラットフォームがあるが、ネイティブの人たちには以下の2つのプラットフォームしかない。そこには現在、過去、未来、現在完了といった時制表現をするための**機関車**が並んでいると想像してほしい。但し以下のものは疑問を発する**機関車**であることは言うまでもない。またそれぞれのフレーズの上は「相手方のこと」、そして下は「第三者を話題にして」のものだ。

彼らにとってこれらの**機関車**であるAre youやWere youは「相手の現在や過去の存在」を問うものであり、Do youやDid youは「相手の現在や過去の付帯状況」などを問うものとして脳に蓄積されているからだ。

<機関車>

(be動詞フレーズを牽引する機関車)

現在形	過去形	未来形	現在完了形
[1] Are you	[2] Were you	[3] Will you	[4] Have you
[1] Is Lucy	[2] Was Lucy	[3] Will Lucy	[4] Has Lucy

## (一般動詞フレーズを牽引する機関車)

現在形	過去形	未来形	現在完了形
[1] Do you	[2] Did you	[3] Will you	[4] Have you
[1] Does Lucy	[2] Did Lucy	[3] Will Lucy	[4] Has Lucy

### ●各機関車によって牽引される客車とは

これらの機関車が、客車とも言えるfreeやhave a headacheなどのフレーズを牽引する。ただ各機関車が牽引する客車は決まっていて、例えば、be動詞フレーズを牽引する機関車[1]はbe動詞フレーズの(1)が、あるいは一般動詞フレーズを牽引する機関車[1]は一般動詞フレーズの(1)が牽引される、といった具合になっている。

ただし、以下の表記では、このプラットフォームのそれぞれの機関車をファンクションフレーズと呼ぶことにする。ファンクションフレーズとは主体と事実や情緒などを表すひとまとまりの意味をもったものだ。

### <牽引されるbe動詞フレーズの客車>

=====

#### 【be動詞フレーズ 5 段活用】

=====

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| (1) (am, are, is) free | 現在形動詞フレーズ        |
| (2) (was, were) free   | 過去形動詞フレーズ        |
| (3) be free            | 原形動詞フレーズ         |
| (4) being free         | ing形動詞フレーズ※      |
|                        | ※原則として進行形にはならない。 |
| (5) been free          | ed形動詞フレーズ        |

=====

### <牽引される一般動詞フレーズの客車>

=====

### 【一般動詞フレーズ5段活用】

=====

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| (1) have[has] a headache | 現在形動詞フレーズ   |
| (2) had a headache       | 過去形動詞フレーズ   |
| (3) have a headache      | 原形動詞フレーズ    |
| (4) having a headache    | ing形動詞フレーズ※ |
- ※このhaveは「所有」を表すので進行形にはならない。
- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| (5) had a headache | ed形動詞フレーズ |
|--------------------|-----------|
- =====

### ●ネイティブの頭に広がる5つの動詞フレーズパターン

私たちは動詞単体の変化ばかりに注目する教育文法の影響を受けてきた。

現在形	過去形	原形	現在分詞	過去分詞
am,are,is	was,were	be	being	been
have,has	had	have	having	had

しかしこれでは言葉としての英語が見えてこないばかりか、いつまでたっても表現が言葉として定着・蓄積していかない。先に述べたように、「助動詞+動詞の原形」、「進行形はbe動詞+現在分詞」、「受身形はbe動詞+過去分詞」、「現在完了形はhave[has]+過去分詞」などと解明したところで文法テストで役に立つだけで英語は言葉として身につかないのだ。これが日本人を英語音痴にしてきた大きな原因と言える。

ネイティブは動詞フレーズでことばを定着・蓄積し、しかも表現に応じて動詞フレーズそのものを5つのパターンに変化させる、これが彼らの英語脳なのだ。

### [3] 言葉で説明するよりも

さっそくトレーニングを試してほしい。

まずあなたも「暇な状態」をfreeだと頭に思い浮かべ、それにAre youやWere youなどの機関車に連結させてください。その表現展開が【トレーニング-No.1-1】[対話者間]だ。ここで[1][2]の現在形と過去形はそのままfreeが連結されるが、[3]の未来形ではbe freeとなり、[4]の現在完了形ではbeen freeが連結されることに注意してほしい。さらに【トレーニング-No.1-2】[第三者を話題にして]も試してください。ここでは機関車がIs LucyやWas Lucyなどに変わるが、連結される客車はそれぞれ同じものだ。

次に「頭が痛い」をhave a headacheと頭に思い浮かべ、それにDo youやDid youなどの機関車に連結させてください。その表現展開が【トレーニング-No.2-1】[対話者間]だ。ここではほとんどが[3]の原形動詞フレーズが連結されていることに注目してほしい。但し例外が3つある。[1][2]の現在形と過去形の肯定形がそれぞれ[1]の現在形動詞フレーズと[2]の過去形動詞フレーズが、[4]の現在完了形ではすべてが(5)のed形動詞フレーズが連結される。また【トレーニング-No.2-2】[第三者を話題にして]においては、現在形の肯定形がhas a headacheとなるだけで他はそれぞれまったく同じだ。

### ●ここで注目していただきたいこと

トレーニングの赤文字で表記したフレーズに注目してほしい。まずfreeは未来形ではbe free、完了形ではbeen freeとなるが、このトレーニングで生産される英文は、Short Answerを除いて32となる。一方have a headacheでは、そのほとんどが原形動詞フレーズであるhave a headacheであり、例外は→で表した部分だけしかないのである。それでも32の文が生産されることになる。

### ●トレーニングの内容

各トレーニング[1]から[4]は、それぞれ現在形、過去形、未来形、現在完了形となっているが、以下のような配列となっている。ここでは[1]の現在形のも

のをあげたものだ。

### [1] 現在形(be動詞のもの)

Are you <b>free</b> ?	疑問形
Yes, I am. I am <b>free</b> .	肯定のShort Answerと肯定形
No, I'm not. I'm not <b>free</b> .	否定のShort Answerと否定形
Aren't you <b>free</b> ?	否定疑問形

### [1] 現在形(一般動詞のもの)

Do you <b>have a headache</b> ?	疑問形
Yes, I do. I <b>have a headache</b> .	肯定のShort Answerと肯定形
No, I don't. I don't <b>have a headache</b> .	否定のShort Answerと否定形
Don't you <b>have a headache</b> ?	否定疑問形

### ●否定疑問形と日本語訳

Aren't you free?やDon't you have a headache?などは否定疑問文と呼ばれている。これらの答え方には注意が必要だ。

Aren't you <b>free</b> ?	あなた、今暇じゃないの?
Yes, I am. I am <b>free</b> .	いいえ。私、暇よ
No, I'm not. I'm not <b>free</b> .	はい、私、暇じゃないよ

Don't you <b>have a headache</b> ?	あなた、頭が痛くないの?
Yes, I do. I <b>have a headache</b> .	いいえ。私、頭が痛いよ
No, I don't. I don't <b>have a headache</b> .	はい、私、頭は痛くないよ

私たち日本人にとって日本語のYesやNoは単なる返事のようにとらえられている。したがって否定疑問形での応答では、Yesを「いいえ」、Noを「はい」と訳すことが多い。しかし英語の発想には「暇な状態」や「頭が痛い」といった事実に対して、それを肯定する場合にはYes、否定する場合はNoと

なることに注意してほしい。つまり「あなた、暇なの?」でも「あなた、暇じゃないの?」でも、「暇な状態」を、あるいは「あなた、頭が痛いの?」でも「あなた、頭いたくないの?」でも「頭が痛い状態」を頭に思い浮かべてYesやNoを使い分けることになる。

このことは、過去形、未来形、あるいは現在完了形などすべての否定疑問形に共通する。またこの本では、否定疑問形に対する応答は普通の疑問形と同じなので省略した。

### ●進行形も受身形も英語のしくみはシンプルで合理的だ

例にあげた2つのトレーニングはとても簡単なものだが、この「枠組み」が、以下のような難解とも言える表現の基本となる。

特に、be動詞フレーズを牽引する機関車によって進行形や受身形の表現へと展開していくことになる。ここではfreeがtaking a walkやwaited for by Lucyに変わっただけなのだ。

#### <機関車>

##### (be動詞フレーズを牽引する機関車)

現在形	過去形	未来形	現在完了形
[1] Are you	[2] Were you	[3] Will you	[4] Have you
[1] Is Lucy	[2] Was Lucy	[3] Will Lucy	[4] Has Lucy

#### <牽引されるbe動詞フレーズの客車> 進行形の場合

##### 【be動詞フレーズ5段活用】

- |  |             |
|--|-------------|
| (1) (am, are, is) <b>taking a walk</b> | 現在形動詞フレーズ   |
| (2) (was, were) <b>taking a walk</b>   | 過去形動詞フレーズ   |
| (3) <b>be taking a walk</b>            | 原形動詞フレーズ    |
| (4) <b>being taking a walk</b>         | ing形動詞フレーズ※ |
| ※進行形にはならない。                            |             |
| (5) <b>been taking a walk</b>          | ed形動詞フレーズ   |

=====

<牽引されるbe動詞フレーズの客車> 受身形の場合

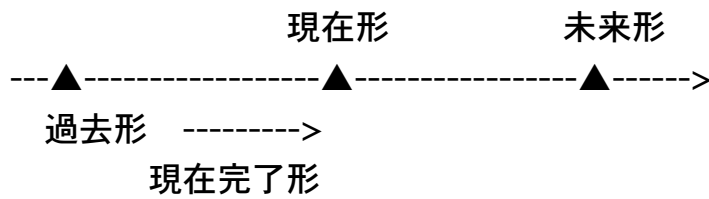
=====

【be動詞フレーズ5段活用】

=====

- |                                      |            |
|--------------------------------------|------------|
| (1) (am, are, is) waited for by Lucy | 現在形動詞フレーズ  |
| (2) (was, were) waited for by Lucy   | 過去形動詞フレーズ  |
| (3) be waited for by Lucy            | 原形動詞フレーズ   |
| (4) being waited for by Lucy         | ing形動詞フレーズ |
| (5) been waited for by Lucy          | ed形動詞フレーズ  |
- =====

be動詞フレーズの現在形、過去形、未来形、現在完了形という4つの基本時制の「英語の枠組み」が、現在進行形、過去進行形、未来進行形、現在完了進行形や現在受身形、過去受身形、未来受身形、現在完了受身形、あるいは現在受身進行形、過去受身進行形などへの展開の基礎となる。これが英語脳の獲得なのだ。このことについては後に個別に説明していくことにする。



## 【トレーニング-No.1-1】 [対話者間・単数主語]

---

### [1] 現在形

Are you **free**?  
Yes, I am. I am **free**.  
No, I'm not. I'm not **free**.  
Aren't you **free**?

### [2] 過去形

Were you **free**?  
Yes, I was. I was **free**.  
No, I wasn't. I wasn't **free**.  
Weren't you **free**?

### [3] 未来形

Will you **be free**? ↓ (3)の原形動詞フレーズ  
Yes, I will. I will **be free**.  
No, I won't. I won't **be free**.  
Won't you **be free**?

### [4] 現在完了形

Have you **been free**? ↓ (5)のed形動詞フレーズ  
Yes, I have. I have **been free**.  
No, I haven't. I haven't **been free**.  
Haven't you **been free**?

---

---

**[1] 現在形 現在の事実・習慣**

(今)あなた、暇なの？

そうよ。私、暇よ。

そうじゃないよ。私、暇じゃないよ。

(今)あなた、暇じゃないの？

**[2] 過去形 過去の一点の事実**

(その時)あなた、暇だったの？

そうよ。私、暇だったよ。

そうじゃないよ。私、暇じゃなかったよ。

(その時)あなた、暇じゃなかったの？

**[3] 未来形 これからの事実**

(これから)あなた、暇になるの？

そうよ。私、暇になるよ。

そうじゃないよ。私、暇にならないよ。

(これから)あなた、暇にならないの？

**[4] 現在完了形 過去を背負った現在の事実 「継続」**

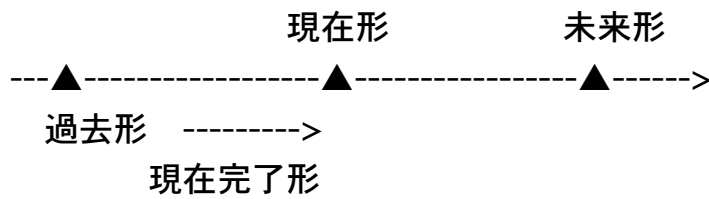
(ずっと)あなた、暇なの？

そうよ。私、暇よ。

そうじゃないよ。私、暇よ。

(ずっと)あなた、暇じゃないの？

---



## 【トレーニング-No.1-2】 [第三者を話題にして・単数主語]

---

### [1] 現在形

Is Lucy **free**?

Yes, she is. She is **free**.

No, she's not. She's not **free**.

Isn't Lucy **free**?

### [2] 過去形

Was Lucy **free**?

Yes, she was. She was **free**.

No, she wasn't. She wasn't **free**.

Wasn't Lucy **free**?

### [3] 未来形

Will Lucy **be free**? ↓ (3)の原形動詞フレーズ

Yes, she will. She will **be free**.

No, she won't. She won't **be free**.

Won't Lucy **be free**?

### [4] 現在完了形

Has Lucy **been free**? ↓ (5)のed形動詞フレーズ

Yes, she has. She has **been free**.

No, she hasn't. She hasn't **been free**.

Hasn't Lucy **been free**?

---

---

**[1] 現在形 現在の事実・習慣**

(今)ルーシーは、暇なの？

そうよ。彼女、暇よ。

そうじゃないよ。彼女、暇じゃないよ。

(今)ルーシーは、暇じゃないの？

**[2] 過去形 過去の一点の事実**

(その時)ルーシーは、暇だったの？

そうよ。彼女、暇だったよ。

そうじゃないよ。彼女、暇じゃなかったよ。

(その時)ルーシーは、暇じゃなかったの？

**[3] 未来形 これからの事実**

(これから)ルーシーは、暇になるの？

そうよ。彼女、暇になるよ。

そうじゃないよ。彼女、暇にならないよ。

(これから)ルーシーは、暇にならないの？

**[4] 現在完了形 過去を背負った現在の事実 「継続」**

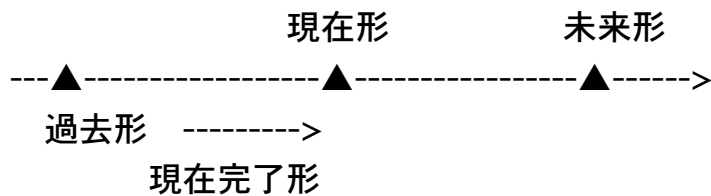
(ずっと)ルーシーは、暇なの？

そうよ。彼女、暇よ。

そうじゃないよ。彼女、暇よ。

(ずっと)ルーシーは、暇じゃないの？

---



## 【トレーニング-No.2-1】 [対話者間・単数主語]

---

### [1] 現在形

Do you **have a headache**?

Yes, I do. I **have a headache**. ← (1)の現在形動詞フレーズ

No, I don't. I don't **have a headache**.

Don't you **have a headache**?

### [2] 過去形

Did you **have a headache**?

Yes, I did. I **had a headache**. ← (2)の過去形動詞フレーズ

No, I didn't. I didn't **have a headache**.

Didn't you **have a headache**?

### [3] 未来形

Will you **have a headache**?

Yes, I will. I will **have a headache**.

No, I won't. I won't **have a headache**.

Won't you **have a headache**?

### [4] 現在完了形

Have you **had a headache**? ↓ (5)のed形動詞フレーズ

Yes, I have. I have **had a headache**.

No, I haven't. I haven't **had a headache**.

Haven't you **had a headache**?

---

---

**[1] 現在形 現在の事実・習慣**

(今)あなた、頭が痛いの？

そうよ。私、頭が痛いよ。

そうじゃないよ。私、頭が痛くないよ。

(今)あなた、頭が痛くないの？

**[2] 過去形 過去の一点の事実**

(その時)あなた、頭が痛かったの？

そうよ。私、頭が痛かったよ。

そうじゃないよ。私、頭が痛くなかったよ。

(その時)あなた、頭が痛くなかったの？

**[3] 未来形 未来の事実**

(もしそんなことをすると)、あなた、頭が痛くなるの？

そうよ。私、頭が痛くなるよ。

そうじゃないよ。私、頭が痛くならないよ。

(もしそんなことをしても)、あなた、頭が痛くならないの？

**[4] 現在完了形 過去を背負った現在の事実**

(ずっと)あなた、頭が痛いの？

そうよ。私、頭が痛いよ。

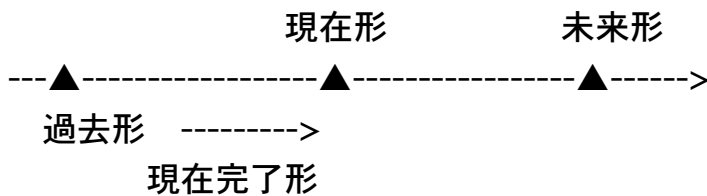
そうじゃないよ。私、頭が痛くないよ。

(ずっと)あなた、頭が痛くないの？

---

**[3] If you do that, will you have a headache?**

Even If you do that, won't you have a headache?



## 【トレーニング-No.2-2】 [第三者を話題にして・単数主語]

---

### [1] 現在形

Does Lucy **have a headache**?

Yes, she does. She **has a headache**. ← (1)の現在形動詞フレーズ

No, she doesn't. She doesn't **have a headache**.

Doesn't Lucy **have a headache**?

### [2] 過去形

Did Lucy **have a headache**?

Yes, she did. She **had a headache**. ← (2)の過去形動詞フレーズ

No, she didn't. She didn't **have a headache**.

Didn't Lucy **have a headache**?

### [3] 未来形

Will Lucy **have a headache**?

Yes, she will. She will **have a headache**.

No, she won't. She won't **have a headache**.

Won't Lucy **have a headache**?

### [4] 現在完了形

Has Lucy **had a headache**? ↓ (5)のed形動詞フレーズ

Yes, she has. She has **had a headache**.

No, she hasn't. She hasn't **had a headache**.

Hasn't Lucy **had a headache**?

---

---

**[1] 現在形 現在の事実・習慣**

(今)ルーシーは、頭が痛いのか?

そうよ。彼女、頭が痛いよ。

そうじゃないよ。彼女、頭が痛くないよ。

(今)ルーシーは、頭が痛くないのか?

**[2] 過去形 過去の一点の事実**

(その時)ルーシーは、頭が痛かったのか?

そうよ。彼女、頭が痛かったよ。

そうじゃないよ。彼女、頭が痛くなかったよ。

(その時)ルーシーは、頭が痛くなかったのか?

**[3] 未来形 未来の事実**

(もしそんなことをしたら)、ルーシーは、頭が痛くなるのか?

そうよ。彼女、頭が痛くなるよ。

そうじゃないよ。彼女、頭が痛くならないよ。

(もしそんなことをしても)、ルーシーは、頭が痛くならないのか?

**[4] 現在完了形 過去を背負った現在の事実 「継続」**

(ずっと)ルーシーは、頭が痛いのか?

そうよ。彼女、頭が痛いよ。

そうじゃないよ。彼女、頭が痛くないよ。

(ずっと)ルーシーは、頭が痛くないのか?

---

**[3] If Lucy does that, will Lucy have a headache?**

Even If Lucy does that, won't Lucy have a headache?

#### [4] トレーニングのための基礎知識

##### ●英語の4つの時制の意味

##### (1) 現在形って何だ

現在形は、「現在の事実・習慣」を表す。

Are you **free now**? 「現在の事実」

あなた、今暇なの？

Are you usually **free**? 「習慣」

あなた、ふだん暇なの？

Do you **have a headache now**? 「現在の事実」

あなた、今頭が痛いの？

Do you sometimes **have a headache**? 「習慣」

あなた、時々頭が痛くなるの？

「現在形でよく使われる時」については、巻末のP. \_\_ を参照のこと。

##### (2) 過去形って何だ

過去形は、「過去の一点の事実」を表す。過去と言っても「数秒前」も「何年も前」も、あるいは「昔のこと」も彼らにとっては過去なのだ。

Were you **free at that time**?

あなた、その時暇だったの？

Did you **have a headache at that time**?

あなた、その時頭が痛かったの？

「過去形でよく使われる時」については、巻末のP. \_\_ を参照のこと。

##### (3) 未来形って何だ

未来形は、「未来の事実」を表す。ただし未来といっても数秒後も数分後も、あるいは将来も未来だ。なお、willには「～するつもりです」などと意志を表す場合もある。

Will you **be free**?

あなた、暇になるの？

if you do that, will you **have a headache**?

(もしそんなことをすると)、あなた、頭が痛くなるの？

この未来形では原形動詞フレーズ(動詞の原形で始まる動詞フレーズ)が用いられるが、これは「ひとまとまりの映像世界」のような意味を持っている。doやdoes、あるいはdidを使った否定形や疑問形、あるいはwillなど情緒動詞(助動詞)、to+不定詞と呼ばれるtoに導かれるのはこれだ。

「未来形でよく使われる時」については、巻末のP. \_\_ を参照のこと。

#### (4) 現在完了形って何だ

現在完了形は、「過去を背負った現在の事実」を表す。つまり「過去における状態や付帯状況」を現在も「持っている」というものだ。

I have **been free**.

私は持っている 暇だったことを

I have **had a headache**.

私は持っている 頭が痛かったことを

ただし過去の背負い方で、「継続」「完了・結果」「経験」の意味となる。この場合、それぞれの意味に使われることばによって判断されることになる。

Have you **been free since this morning**? 「継続」

あなた、今朝からずっと暇だったの？

Have you ever **been free**? 「経験」

あなた、今まで暇だったことがあるの？

Have you **had a headache since this morning**? 「継続」

あなた、今朝からずっと頭が痛かったの？

Have you ever **had a headache**? 「経験」

あなた、今まで頭が痛かったことがあるの？

Have you **scolded Bill**? 「完了・結果」

あなた、ビルを叱ったの？

have[has]に導かれるのはed形動詞フレーズ(動詞のed形で始まる動詞フレーズ)だ。これは「過去におけるひとまとまりの映像世界」のような意味を持っている。

「現在完了形でよく使われる時」については、巻末のP.\_\_\_\_を参照のこと。

### ●事実表現と情緒表現について

以上は「今暇なのか?」「今頭が痛いのか?」といった現在や過去などについての事実表現だが、英語表現には「暇かもしれない」「頭が痛いかもしれない」といったものもある。これらは主に情緒動詞(助動詞)を用いた表現となるが、私はこのような表現を「情緒表現」と呼んでいる。

will, would, may, might, can, could, must, shall, should, had better

この表現に用いられる動詞フレーズは、動詞フレーズのパターンに分類された(3)の原形動詞フレーズと(5)のed形動詞フレーズだ。情緒表現といっても英語はとてもシンプルなものなのだ。

また一定の一般動詞がto不定詞と呼ばれる前置詞toが原形動詞フレーズを導く場合については、P.\_\_\_\_の●特別仕様の機関車とはを参照のこと。

(3) **be free** 原形動詞フレーズ

(3) **have a headache** 原形動詞フレーズ

She may **be free**.

彼女は暇かもしれません

She may **have a headache**.

彼女は頭が痛いかもしれません

(5) **been free** 原形動詞フレーズ

(5) **had a headache** 原形動詞フレーズ

She may **have been free**.

(今考えてみると)彼女は暇だったかもしれません

She may **have had a headache**.

(今考えてみると)彼女は頭が痛かったかもしれません

これらは過去を背負った表現となるので、日本語の感覚では「今考えてみると」といったことばをつけ加えると理解しやすい。これらの情緒表現の用例については、個別に各動詞フレーズの表現展開にとりあげておいた。さらに巻末P.\_\_\_\_に主な情緒動詞の意味をあげておいたので参照してほしい。

### ● LucyやBillはシンボルとして使ったもの

ほとんどのトレーニングで三人称単数を表す人主語をLucyやBillとしている。

これは簡単に英語脳を構築していただくための単なる手段だ。これらは象徴として使っているに過ぎなく、場面や状況に応じての具体的な表現では以下のようなことばに変えて表現してください。

She系列 ---> Hanako, Mrs. Suzuki, Miss Suzuki, your daughter, your wife  
your sister, your mother

He系列 ---> Taro, Mr. Suzuki, your son, your husband, your brother  
your father

ただし、以下のものは女性、男性の区別は当然だ。

your kid, your child, your boss, your teacher, your neighbor

## ●英語脳の構築はここから始まる

具体的な各トレーニングは、「情緒表現」に始まり、「事実表現」である[1]現在形、[2]過去形、[3]未来形、[4]現在完了形の順に表現展開することになる。それぞれの英文展開については、始めは日本語訳の以下のような表記に注目してほしい。

### [1] 現在形 現在の事実・習慣

(今)暇なの？

(今)暇じゃないの？

### [2] 過去形 過去の一点の事実

(その時)暇だったの？

(その時)暇じゃなかったの？

### [3] 未来形 未来の事実

(これから)暇になるの？

(これから)暇にならないの？

### [4] 現在完了形 過去を背負った現在の事実 「継続」

(ずっと)暇なの？

(ずっと)暇じゃないの？

これら日本語訳の文頭にある(今)、(その時)、(これから)、(ずっと)によってそれが現在のこと、過去のこと、未来のこと、現在完了のことと頭にイメージされ、それがbe動詞系列だと以下のフレーズが自然に口から出てくるようになったときに、あなたの頭に英語構築が始まることになる。

Are you Aren't you / Were you, Weren't you / Will you, Won't you/  
Have you, Haven't you

## **第1章 be動詞フレーズ系列の英語脳を構築する**